

国調クイズ Q3 ▶ 「未婚」「有配偶者」「死別」「離別」で急増する配偶関係は？

下の表は錦江町の25年後を予測した人口推計。35年前、1万3千人だった人口は減少の一途をたどり、25年後には3千人台まで減ると予測される。

まちの政策を決める道しるべ

誰もが安心して豊かな生活を送るためには、それぞれが住む地域の現状や課題、これまでの経緯を知り、根拠ある数字を基に、未来に繋ぐ道しるべを示さなければなりません。もしも国勢調査がなかったら、私たちの生活はどうなるでしょうか。錦江町の歳入に占める地方交付税の割合は全体の約5割を占める48%。国からの交付税の算定基礎には、国勢調査の結果が使われています。また、少子高齢化や人口減少が急激に進むなか、住み慣れた地域で誰もが幸せに暮らせる社会をつくるためには、地域ごとの実情を把握することが不可欠。他にも人口予測や防災対策、交通、医療、学校、さらにコンビニやスーパーの出店まで、公的機関から民間企業まで幅広く活用され、私たちの暮らしを支えています。

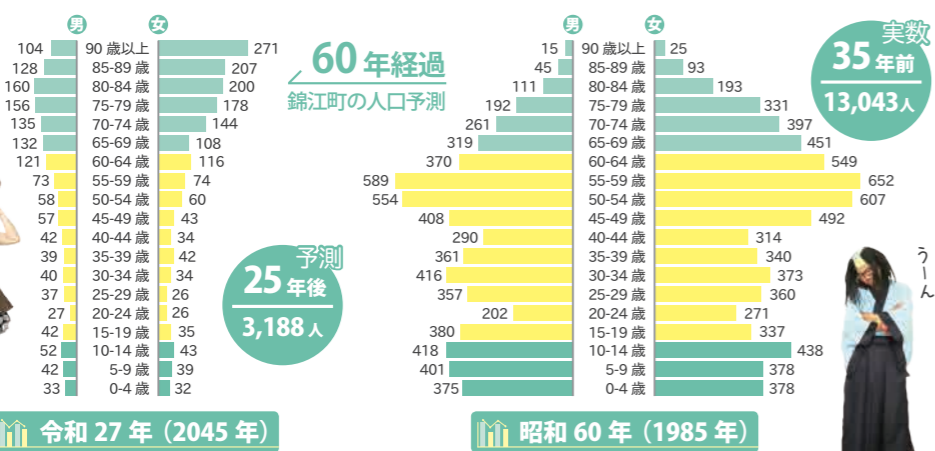
[ゲキアツ統計調査員]  
まっすぐ日本の未来を見つめる熱血感あふれる統計調査員



[錦江くわがたガールズ]  
とても素直な性格で、いつも落ち武者の意見に流されやすい...



[落ち武者ボーイズ]  
面倒なことはすぐに後回しにする、ちょっと悪いクセがある。

確かな数字から導き出される誰もが幸福を感じられる社会

誰もが安心して豊かな生活を送るためには、それぞれが住む地域の現状や課題、これまでの経緯を知り、根拠ある数字を基に、未来に繋ぐ道しるべを示さなければなりません。もしも国勢調査がなかったら、私たちの生活はどうなるでしょうか。錦江町の歳入に占める地方交付税の割合は全体の約5割を占める48%。国からの交付税の算定基礎には、国勢調査の結果が使われています。また、少子高齢化や人口減少が急激に進むなか、住み慣れた地域で誰もが幸せに暮らせる社会をつくるためには、地域ごとの実情を把握することが不可欠。他にも人口予測や防災対策、交通、医療、学校、さらにコンビニやスーパーの出店まで、公的機関から民間企業まで幅広く活用され、私たちの暮らしを支えています。

人口推移から見る錦江町の「今」

「つりがね型」と呼ばれる先進国に見られるタイプに近かった昭和60年頃。現在は出生率が少なく高齢者が多い「つば型」へ移行。25年後の人口予測では全体に人口減少が進み、高齢者を支える若い世代が極端に少ないことが分かります。

まちが直面する課題に地域一体で取り組む5カ年の計画

今年3月に「第2期錦江町総合戦略」を策定

5年前に策定された第1期総合戦略をもとに進めてきた政策の検証・分析を行い、まちが目指す将来像に向けた今後5年間の計画を策定。人口ビジョンから将来展望を見据えた具体的な実行計画。

幸福度という視点と地域の声を「まちづくりの指標」に取り入れる

まちづくりの最上位計画「錦江町総合振興計画」を見直す

計画の見直しに向け、各地区公民館や町内の全小学校で「まちづくりワークショップ」を33回にわたって開催。自分たちが住む地域の魅力を再認識し、未来を見つめて出された声や、町民3,000人を対象に行った「幸福度調査」の結果も計画に反映させる方針。



防災・災害対策にも欠かせない

災害による被害の大きさは、人口や人口密度、災害の起こる時刻によって大きく異なります。通勤や通学の情報をもとに「昼間人口」を把握することで、防災設備や機能、規模など災害対策にも活用されています。

地方交付税や衆議院小選挙区の決定に

錦江町の歳入の48.3%を占める地方交付税の算定基礎にも、「人口」「65歳以上人口」「林業や水産業従事者」などの国勢調査結果が利用されます。また、衆議院議員小選挙区も「人口」をもとに改定されます。

国勢調査はこんな所にも

私たちの身近な生活で調査結果を活用

錦江町の地方交付税 48.3% (30億1,965万円) 令和2年当初予算(歳入)

ワークショップで地域の魅力再発見↓

コンビニやスーパーの出店にも

国勢調査の結果は行政だけに限らず、人口学や経済学、地理学などの学術研究はもちろん、企業の製品やサービス、需要予測などにも利用されています。コンビニやスーパーの出店、立地評価にも活用。

将来の人口を予測する基礎データ

将来を見通し、各方面の政策を決めるための基礎データとなる人口予測。国勢調査がなければ、国立社会保障・人口問題研究所が5年に1回公表する、50年後までの人口予測、「将来人口推計」も成立しません。